

新たな発見を求めて

～公園見学会～



日頃見慣れた公園も視点を変えれば新たな発見がありました。また、他の公園も見学し、感じたことなどをみんなで話し合うことで、公園リニューアルのイメージが膨らみました。公園見学会には子ども達もたくさん参加し、遊具などで遊ぶ様子は大人にとって公園を考える材料になりました。

みんなが主役になるために

～グループワーク～



誰もが参加しやすく、参加者が均等に発言できるように、5～7人程度の小グループに分かれ進行役や発表者などを決めて、みんなで協力しながらグループ内の意見をまとめていきました。知らなかった地域の方とも、グループワークを通じて、親しくなることができました。

ワークショップとは？

まちづくりにおける住民参加の手法として「ワークショップ」という言葉がよく聞かれます。ワークショップとはあるテーマについて、みんなでアイデアを出し合う「場」です。

参加者は小さなグループをつくり、テーマについて様々なアイデアを出し合い、意志決定をしていきます。ワークショップは大人から子どもまで誰でも参加することができます。参加者は、誰もが平等な立場で意見を出し合ったり、グループで作業したり楽しみながら計画をつくりあげていきます。ワークショップでは、一つの目標に向かって共同作業することにより、新しいコミュニケーションの輪が広がっていきます。

ワークショップで公園づくり

オープニング式典では、参加者全員でテープカットを行いました（写真は伏見台南公園）



住民参加の公園づくり

松尾台公園・伏見台南公園がリニューアルオープン

昨年の12月23日、松尾台公園と伏見台南公園をリニューアルし、新たな憩いの広場としてオープンしました。これらのリニューアルについては、ワークショップという手法を用いて、公園近隣の住民や公園利用者など子どもから高齢者までの幅広い層が集まり、その整備や利用方法について話し合いをした結果、完成したものです。今回はこれまで進めてきた公園づくりワークショップの経過と完成した公園の紹介、また、今後の公園づくりへの取り組みについてお伝えします。

町内には、約40カ所の公園があります。公園は、憩いと安らぎを与えてくれる空間であり、また地域のコミュニケーションの場として、誰もが利用できる場所です。しかし、近年、地域のニーズや世帯構成の変化などにより、利用されにくい公園が出てきています。公園と皆さんとの距離を縮め、地域の公園として愛着と親しみをもつて利用していただくため、本町では、利用者である地域の皆さんが自ら公園づくりに参加していただけるような、住民参加の公園づくりに取り組んでいます。

意見交換で公園づくり
今回リニューアルした松尾台公園と伏見台南公園については、施設の老朽化が進んでいたことから、大規模な改修を行います。

地域で育てる公園
地域の公園については、地域の皆さんが管理などに関わり、里親のような気持ちで公園を育てていただくことが、公園への親しみとともに、地域の安全にも繋がると考えています。東山公園や大島であ

花の公園へ

花のある公園は、だれにとっても気持ちのいいものです。しかし、花は生きものであるため、かならずお世話をする人が必要となります。そういったことから、本町では公園内で花づくりを募り、協力していただけるボランティアの方々に花苗の一部を支援する「花の公園づくり」を、15年度より実施しています。

現在、7グループが活動され、9つの公園で花だんの管理をされています。公園内での花づくりから、地域のコミュニケーションの輪が一層広がることを期待しています。

公園づくりワークショップの詳細は、町ホームページ都市整備課のトピックスに掲載しています。

問合せ 都市整備課
766・8704

松尾台公園・伏見台南公園の取り組み

地域住民の参加によるワークショップでは、公園のリニューアル計画とともに、利用方法などについても話し合いました。また、既存の施設はできるだけ再利用することが提案され、とともに、新たに設置する遊具については、子ども達の意見を聞くため、2つの公園をよく利用する松尾台小学校全校児童を対象に行ったアンケートも活かされました。

松尾台公園の特徴

もともと公園にある大きな段差をどう活用するのが一番のテーマとなり、これを活用したすべり台やがけ登りのほか、車椅子でも利用できるように緩やかな傾斜のスロープが提案されました。砂場には犬や猫が入らないようにするため、本町ではじめて、砂場の周りに高さ1mの柵（砂場柵）を設けました。

また、公園内に設置されている防火水槽のフェンスを外し、オープンで見晴らしの良い休憩場所にするなど、公園内のスペースを広く有効に活用することとしました。

伏見台南公園の特徴

伏見台南公園では、大きく繁っていた樹木が公園を暗くしていたため、公園の利用者のみならず周辺住宅との関わりを考えながら、明るい公園づくりの提案がされました。樹木に囲まれた芝生の小高い丘の上には、大きな複合遊具を設置し、自然の中で子ども達がのびのびと遊べるように考えられました。また、既存のトイレは最小限の改修で残すとともに、トイレの雨どいを利用した雨水貯留タンクを設置し、花の水やりなどに利用しています。

ワークショップの実施状況

公園名	松尾台公園	伏見台南公園
所在地	松尾台4丁目	伏見台2丁目
面積	約2,400㎡	約2,500㎡
実施期間	平成13年11月21日 ～同15年2月7日	平成14年3月26日 ～同15年2月20日
実施回数	9回	7回
参加人数	57名（延べ143名）	37人（延べ105人）

参加者の声

松尾台公園がリニューアルオープンして



▲朝田道雄さん（松尾台在住）

ワークショップから参加しています。私達の意見が反映された公園が完成し、とてもうれしく思っています。まだ樹木が少ないので、花の咲く木も植えて、大人達も集える季節感のある公園にしたいです。また、大人が集まることにより、地域で子ども達を見守っていただける場になればいいと考えています。

これから伏見台南公園で

いっばい遊びたい
工事中はとても楽しみで、よく工事がどこまで進んでいるか見に行っていました。自分達がワークショップでお願いしたフェンスもきれいになって、遊具もたくさん増えていてとてもうれしかったです。公園がきれいになってから外で遊ぶことが多くなりました。



小林裕太郎くん・姉妹さん（伏見台南在住）

イメージをかたちにする

～起し絵模型づくり～



グループ内の提案がまとまってきたら、みんなのイメージをかたちにするため、起し絵模型づくりを行いました。色画用紙などを用いて、遊具などの施設や樹木、広場などをつくる楽しい作業であったため、子ども達も参加しやすく、公園のイメージを共有することができました。

できることは自分達の手で



起し絵模型やたくさんの意見をもとに専門家の協力も得て、最終的な公園のリニューアル計画が完成しました。また、ワークショップでは、意見を言うだけではなく「自分たちでできることは、自分たちです」との考えで、手づくりの花だんもつくりました。再利用のレンガなども使った花だんは、とてもあたたかみのある地域の花だんになりました。

やまもと 山本 優希くん
1歳7カ月（林田）



最近ますますやんちゃな優希。でも男の子は元気が一番！これからその笑顔を大切にね。
父 裕一・母 春香さん

よしもと 吉本 菜広ちゃん
1歳5カ月（白金）



元気いっぱい！！笑顔の素敵な菜広。夢をたくさん持って、実現している人になってね。
父 正人・母 三夏さん

はい！ポーズ



北国原地下水道工事による町道の通行止めのお知らせ

概並地内からクリンセンターを経由して下阿古谷地内に至る町道万善4号線において、鳥帽子岩橋から27.4mの間、下水管布設工事のため通行止めとなります。工事期間中ご迷惑をおかけしますがクリンセンターへは下阿古谷地内からお願いいたします。

なお、通行止め期間は次のとおりです。

▼期間 1月15日（土）～1月25日（日）

▼時間 午前9時～午後5時

は、上下水道部 問い合わせ

工務課（766・8703）

至篠山市 道の駅いながわ 至三田市 県道川西篠山線

通行止め区間 鳥帽子岩橋 至梶並 至阿古谷 27.4m 至川西市

いながわ星空観察会に親子で参加しませんか！！

猪名川天文台で、澄み切った冬の星空観察会を開催します。

とき 1月17日（土）午後6時30分集合（雨天中止）

ところ 猪名川天文台前広場（大野アルプスランド内）

参加費 無料（但し、天文台入館は高校生以上200円）

持ち物 双眼鏡（ある人のみ）

その他 麓からは一方通行です。北部地域は路面が凍結していることがありますので防寒服、手袋などお持ちください。

問い合わせは、農林商工課（766・8709）猪名川天文台（090・5894・2599）へ。

PTCAフォーラムを開催

とき 2月1日（日）午前10時～午後4時

ところ 生涯学習センター（中央公民館）

このフォーラムで、地域を支える地域の学校をめざし、PTAを中心に参画、協働のもとに、地域の子どもの地域（コミュニティ）で育むためにはどうすればよいかを考えていきます。

▼内容 分科会形式による自由討議

▼テーマ 大人が変われば子どもも変わる

▼定員 100人

申込み・問い合わせは、1月23日までに、ハガキ・消印有効）またはFAXで、氏名・住所・年齢・電話番号・FAX番号を記入し、生涯学習課（766・0243）猪名川町柏梨田字前ヶ谷158・1 767・2600 FAX 767・2880）へ。

炭焼体験教室の参加者募集

とき 2月7日（土）・同21日（土）午前9時～午後3時頃（小雨決行）

当日、雨天の場合は同8日（日）・同22日（日）に順延

ところ 枋原めぐみの森内

対象 両日とも参加できる家族またはグループ（概ね1組5人以内）

定員 20組（先着順）

参加費 1組2,000円（材料費・傷害保険料含む） 焼き上がった炭は参加グループに配分

持ち物 弁当・飲み物・手袋・帽子・タオル・汚れてもよい服装、ノコギリ・ナタ（ある人のみ）

申込・問い合わせは、電話で農林商工課（766・8709）へ。